

めた予防と在宅療養に関する情報等が掲載された「脳卒中ノート」や地域連携クリニカルパスを活用し、在宅での医療と介護の連携を強化するとともに、在宅医療を担う医師や認定看護師等の人材育成など在宅療養環境の整備に取り組みます。

- ・ 在宅へ復帰する患者の生活の質を向上するため、医療機関における両立支援コーディネーターの配置を推進し、職場の産業医等と連携するなど、治療と仕事の両立支援を推進します。

(4) 周知啓発・情報提供の推進

- ・ 脳卒中を疑うような症状が現れた際に、迅速な救急搬送の要請につなげるため、関係団体と協力して脳卒中の初期症状の対処法等の啓発を実施します。
- ・ 脳卒中に関する情報を県民に分かりやすく提供するため、急性期の脳神経外科又は脳神経内科の常勤医の有無、回復期の再発予防の治療、基礎疾患・危険因子の管理などの情報について、ホームページ等で周知します。
- ・ 「脳卒中ノート」の活用を推進するため、ホームページ等での周知を行うとともに、関係機関から患者とその家族への情報提供を行う取組等を推進します。
- ・ 関係機関と連携し、脳卒中の緩和ケアやACPの周知を行うとともに、適切な緩和ケアの提供に向けた取組を推進します。

(5) 新興感染症発生・まん延時や災害等の有事における医療体制の整備

- ・ 感染症発生・まん延時や災害時の有事においても、脳卒中患者の地域内、又は地域を超えた迅速かつ適切な救急搬送や、地域の医療資源の有効活用ができる体制を整備するため、平時より関係機関の連携を推進します。
- ・ 地域の医療機関が感染症へ適切に対応するための業務継続計画（BCP）^⑦策定を推進します。

4. 評価指標

指標名	現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
① 脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）	男性 85.2 （全国 93.8） 女性 51.2 （全国 56.4） （令和2年）	男性 68 女性 41 （令和7年）	発症予防・早期発見対策や医療提供体制の強化等により、全国平均を下回る年齢調整死亡率を更に改善する。
② 脳血管リハビリテーション実施件数が全国平均以上の二次保健医療圏の数	6 医療圏 （令和2年）	10 医療圏 （令和11年）	医療提供体制の強化により、全ての二次保健医療圏で脳血管疾患リハビリテーション実施件数を全国平均以上にする。
③ 在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	県 51.7% （全国 55.2%） （令和2年）	全国平均以上 （令和11年）	医療提供体制の強化や在宅療養への移行支援等により、在宅等生活の場に復帰した患者の割合を全国平均以上にする。

^⑦ 業務継続計画（BCP）とは、Business Continuity Planの略で、震災などの緊急時に低下する業務遂行能力を補う非常時優先業務を開始するための計画のことです。

第8次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧
(脳卒中)

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草
予防・啓発	P		喫煙率(男性)	国民生活基礎調査	R元(3年毎)	28.8	30.8	36	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%	
予防・啓発	P		喫煙率(女性)	国民生活基礎調査	R元(3年毎)	8.8	7.7	25	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%	
予防・啓発	P		特定健康診査の実施率	特定健康診査の実施状況	R2(毎年)	53.1	51.2	28	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%	
予防・啓発	P		特定保健指導の実施率	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ	R2(毎年)	23.0	36.9	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	%	
予防・啓発	P		高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率	患者調査	R2(3年毎)	215.3	289.0	46	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
予防・啓発	P		脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	患者調査	R2(3年毎)	67.7	70.9	27	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
予防・啓発～再発・重症化予防	O		脳血管疾患の年齢調整死亡率(男性)	人口動態特殊報告	R2(5年毎)	93.8	85.2	6	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人口10万対	○

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草
予防・啓発～再発・重症化予防	O		脳血管疾患の年齢調整死亡率(女性)	人口動態特殊報告	R2(5年毎)	56.4	51.2	11	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人口10万対	○
救護	P		脳血管疾患により救急搬送された患者数	急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調査	R4(毎年)		4,125		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人	
救護	O		救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間	救急救助の現況	R3(毎年)	42.8	42.4	22	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人	
急性期	S		脳神経内科医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	R2(2年毎)		121		86	6	4	2	13	2	3	3	1	1	人	
急性期	S		脳神経外科医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	R2(2年毎)		105		73	1	4	2	4	/	11	2	4	4	人	
急性期	S		脳卒中の専門病室を有する病院数	医療施設調査	R2(3年毎)		2		2	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
急性期	S		脳卒中の専門病室を有する病床数	医療施設調査	R2(3年毎)		18		18	/	/	/	/	/	/	/	/	/	床	
急性期	S		脳卒中の専門病室を有する病院数(ケアユニット)	医療施設調査	R2(3年毎)		2		2	/	/	/	/	/	/	/	/	/		

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草
急性期	S		脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数	NDB	R3(毎年)		14		6	0	1	1	0	1	2	1	1	1		
急性期	S	●	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数	NDB	R3(毎年)		12.0		6	0	1	1	1	0	0	0	2	1		
急性期	S		脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な医療機関数	日本脳卒中学会から提供(日本脳卒中学会の年次報告より)	R4.11(毎年)	251	3	25	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
回復期～維持期・生活期	S		理学療法士の人数	医療施設調査	R2(3年毎)	100,964.5	2,303.4	14	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人(常勤換算)
回復期～維持期・生活期	S		作業療法士の人数	医療施設調査	R2(3年毎)	51,055.7	1,347.9	13	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人(常勤換算)
回復期～維持期・生活期	S		言語聴覚士の人数	医療施設調査	R2(3年毎)	17,905.4	443.8	10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人(常勤換算)
回復期～維持期・生活期	S		リハビリテーション科医師数	医師・歯科医師・薬剤師統計	R2(2年毎)	2,903.0	39.0	18	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人(常勤換算)
回復期～維持期・生活期	S	●	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数(I)	NDB	R3(毎年)		63		35	4	5	/	6	6	3	4	/			

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ											単位	評価指標として使用		
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北			球磨	天草
回復期～維持期・生活期	S	●	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数(Ⅱ)	NDB	R3(毎年)		44		21	3	3	3	4	3	/	/	/	7		
回復期～維持期・生活期	S	●	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数(Ⅲ)	NDB	R3(毎年)		40		20	3	4	/	3	0	/	/	3	7		
急性期	P		脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数	NDB	R3(毎年)		236		153	0	/	/	0	0	24	15	25	/	件	
急性期	P		脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数	NDB	R3(毎年)		231		213	0	/	0	0	0	18	0	/	0	件	
急性期	P		くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数	NDB	R3(毎年)		176		110	0	12	0	0	0	16	/	17	/	件	
急性期	P		くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数	NDB	R3(毎年)		94		91	0	/	0	0	0	/	0	0	0	件	
急性期～維持期・生活期	P		脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数	NDB	R3(毎年)		1,414,993		862,262	83,378	78,562	21,562	131,634	9,096	131,429	21,409	44,121	31,540	件	
急性期～維持期・生活期	P		脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(SCR)	NDB	R3(毎年)	100.0	118.2		145.1	125.7	128.0	173.6	51.9	58.0	84.7	170.3	103.5	65.8		○

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草
急性期～維持期・生活期	P		脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数	NDB	R3(毎年)		2,133		1,760	33	0	0	89	0	0	44		0	件	
急性期～回復期	O		退院患者平均在院日数	患者調査	R2(3年毎)	77.4	61.8	13	49	49	211.9	179	57.6	65.6	50.6	45.6	29.2	70.5	日	
急性期～再発・重症化予防	O	●	在宅等の生活の場に復帰した患者の割合	患者調査	R2(3年毎)	55.2	51.7		45.6	42.3	66.8	44.4	64.6	53.6	58.3	55.4	41.9	64.2	%	○
回復期～維持期・生活期	S		両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数	(独)労働者健康安全機構の養成研修HP	R4.3.31(毎年)	12,087	246												人	
維持期・生活期	P		脳卒中患者における介護連携指導の実施件数	NDB	R3(毎年)		1,821	3											件	
再発・重症化予防	S		脳卒中患者の重篤化を予防するためのケアに従事している看護師数	日本看護協会	R4.12.25(毎年)	792	23	12											人	
再発・重症化予防	S		歯周病専門医が在籍する医療機関数	日本歯周病学会より提供	R4.12.31(毎年)	973	18	16												
再発・重症化予防	P		脳卒中による入院と同月に摂食機能療法を実施された患者数	NDB	R3(毎年)		33,214	18											人	